

九州地区は、全国保育実践交流会に加盟している福岡県・熊本県・長崎県の12の保育園やこども園で、年長児の交流保育や職員の学習を積み重ねています。

《森田幸子さんをお迎えしての学習会》2025年11月15日(土)～16日(日)

2025年度の秋の学習会に、久留米市安武小学校体育館を会場に、岡山県もみの木子ども園の前園長の森田幸子さんをお迎えして、保育の学びの場を作ることができました。15日(土)は、午前中は年長児(約90名)のリズム、午後からは大人のリズム、16日(日)は12ヶ園130名の職員の参加で、各園全園児の絵を並べ、保育実践を出し合い、課題を探り、午後からはもみの木保育園の絵も見せてもらい、もみの木の実践や森田さんの保育への思いなどお話をいただきました。以下は参加者の感想です。



リズムをする前からの大人の姿勢や立ち姿、ピアノがなったらそのリズムに合わせて広がる、準備する姿がとても大切だと感じました。大人が「広がるよ」など声をかけるのではなく、子どもたちが自分で考えて動くことができるように大人が配慮し、子どもを信じて待つことも大切だと学びました。(3年目 年長担任)

体育館で大人が思い切りリズムをする、森田さんの言われたことを自分で判断し、身体に意識を向けることの2点では、日頃子どもたちへ投げかけていることであり、“自分がする”時の心もちや難しさを改めて振り返ることができた。子どもたちと過ごすとき、今日感じたことを心に持ちながら言葉を選び、互いに嬉しく快くなれるときを過ごせるようリズムに取り組みたい。(20年目 3歳児担任)



森田さんが、子どもたちがどうしたら楽しめる環境かを考えながら、自ら環境を作りあげていかれたのを知り、自分の保育や環境を考えさせられ、もっとできることがあるのではないかと見つめ直していきたいです。(4年目 年長児担任)

森田さんの保育への想いや斎藤先生の言葉や書籍を通して、子どもたちが豊かに育つには、大人のいろんな視点が大切なんだと思いました。「保育論」「子育て」は読み直し、自分自身も豊かな心で子ども一人ひとりを尊重しながら保育していきたいのと、平和な戦争のない国を大事にしたいと思いました。(8年目 1歳児担任)

ひいらぎ・安武の園見学にも参加させていただきました。子どもが満足できる生活や遊びをどう作っていくか、園を作っていく立場であることを改めて考えさせられました。弱さを持つ子をどう見ていくのか、一人ひとりを大切にできていたのか、森田さんから“子どもに厳しく自分に甘い”と言われたことや大人の配慮が足りないと言われて気づく自分の甘さにはっとさせられました。(36年目 園長)

森田さんが学習会の前後日に、4つの園を見学してくださいました。それぞれの園の施設の使い方や子どもの遊び環境に対しての、率直な気づきとアドバイスをいただきました。社会全体の子育て状況や価値観が変わってきている中で、子どもの遊び環境の保障が重要なのだと思いました。また森田さんの、子どもも大人も関係なく“人権”を大事にし、一人ひとりを尊重して接している姿に改めて考えさせられました。生き方が見えるような森田さんの立ち姿が美しく、私も意識して姿勢を正し、子どもたちの前に立ちたいと思いました。



《広木克行先生講演会》

「学齢期を見通して 乳児期に大切なこと」

2026年2月7日(土) 対象:保護者 つぼみ幼稚園・保育園にて

～手をつなぐ子育て～「育ちなおし」を育むために

8日(日)対象:職員 ひいらぎ保育園にて

～乳幼児期は根っこを育てる～ 保育っておもしろい!!



広木先生講演会を取り組むにあたり・・・

コロナ禍を経て、どの保育園も保育・子育てに関する学習の機会が減ったことが現実としてありました。私たちが目指しているさくら・さくらんぼ保育の原点が理解でき、これからの子育て・保育の支えとなる学習をしたいと考え、広木先生を招くことができました。今回の学習に取り組む前に、九州の交流園の保護者の方たちで実行委員会を作りました。

2025年 12月5日(金) 19:00～20:30 事前交流会(リモート)

2026年 2月3日(火) 19:00～20:00 司会進行打ち合わせ(リモート)

コロナ禍以降、対話することが少なくなり、保護者達もつながりを持つ機会がない中、リモートではありましたが、話をする機会を持つことで保護者の方たちが主体となって取り組む学習会となりました。

講演会・・・保護者に向けての講演では、日本の保育・教育制度が子どもの育ちに合ったものではないため苦しんでいる実態が話されました。子どもが、満足して遊びきることの大切さや、甘えと甘やかしの違いも話され、子どもたちを愛おしく思えるお話でした。さくらさくらんぼ保育は、決して古くなく、子どもにとって最先端の保育とも話され、紙おむつ、水や泥んこ遊び、リズムなど一つ一つの意味を先生が話されたことで、保育への理解を深めることができました。

〈参加した保護者の感想〉

長男が小学校に入学して、まわりの子はできていると言われることが増えて、悩んで泣いたことがありました。広木先生の講演を聞き、まわりの子と比べていい、今と向き合うことが大事という言葉にすくわれました。子どもに無理せず、子どもとたくさん向き合おうと思いました。



学び、理解を深めることができました。毎日、少しずつ甘えを受け止める遊ぶを大切に、達成動機を意識して子どもに向き合っていきたい。親としても、学び育ちあえる環境を大切にしたいと改めて感じた。さくらさくらんぼ保育の仲間がたくさんいることをzoomの画面を通して再認識しました。

講演会・・・保育士に向けての講演では、子どもたちの根っこを育てる保育士という仕事の重要性を話され大人が子どもをどうとらえるかが問われると思いました。子どもが自ら～したいと達成動機を積み重ねて、子ども時代を子どもらしく生きること、そのためには、大人の学び、集団としての学習が必要だと感じるお話でした。

〈参加した保育者の感想〉

子どもたちの～したい、やってみようという気持ちを大切にしながら保育をしていこうと思いました。要求の出し方についても一人一人を見て、大人の押し付けにならないように気を付けていかななくてはと感じました。

自分の保育はどうかと保育を見つめなおす機会になりました。(13年目 保育士)

子どもたちの育ちやしあわせのために、保護者・保育士・研究者が一つになり学ぶことが子育ての力になる事を改めて学ぶ学習会でした。



